

2023年7月13日（木）

第7回JMC海事振興セミナー

「コンテナ船業界の現状と今後の見通し」

海上コンテナ市場を取り巻く環境と 今後のコンテナ輸送会社の役割

松田琢磨（拓殖大学商学部 / （公財）日本海事センター）

@（公財）日本海事センター

e-mail:tmatsuda@ner.takushoku-u.ac.jp



拓殖大学
Takushoku University

商学部
Faculty of Commerce

自己紹介

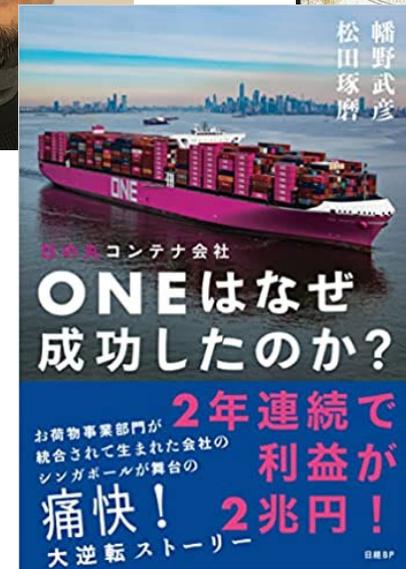
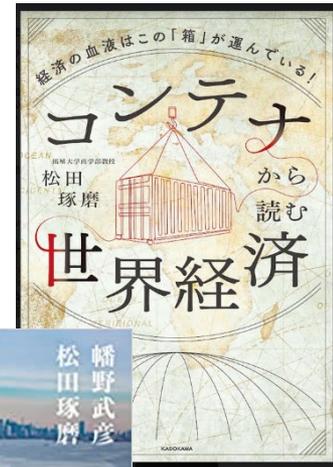
松田琢磨（拓殖大学商学部国際ビジネス学科教授）

- 1997年 筑波大学第三学群社会工学類卒業
- 2016年 東京工業大学理工学研究科単位取得退学
(博士(学術), 東京工業大学)
- 2018年 (公財)日本海事センター主任研究員
- 2020年 拓殖大学商学部国際ビジネス学科教授

研究分野 海運経済学（コンテナ輸送市場）

- ・ コンテナ輸送の市場構造
- ・ バルク貨物のコンテナ化

- 日本海運経済学会常任理事, 日本物流学会理事



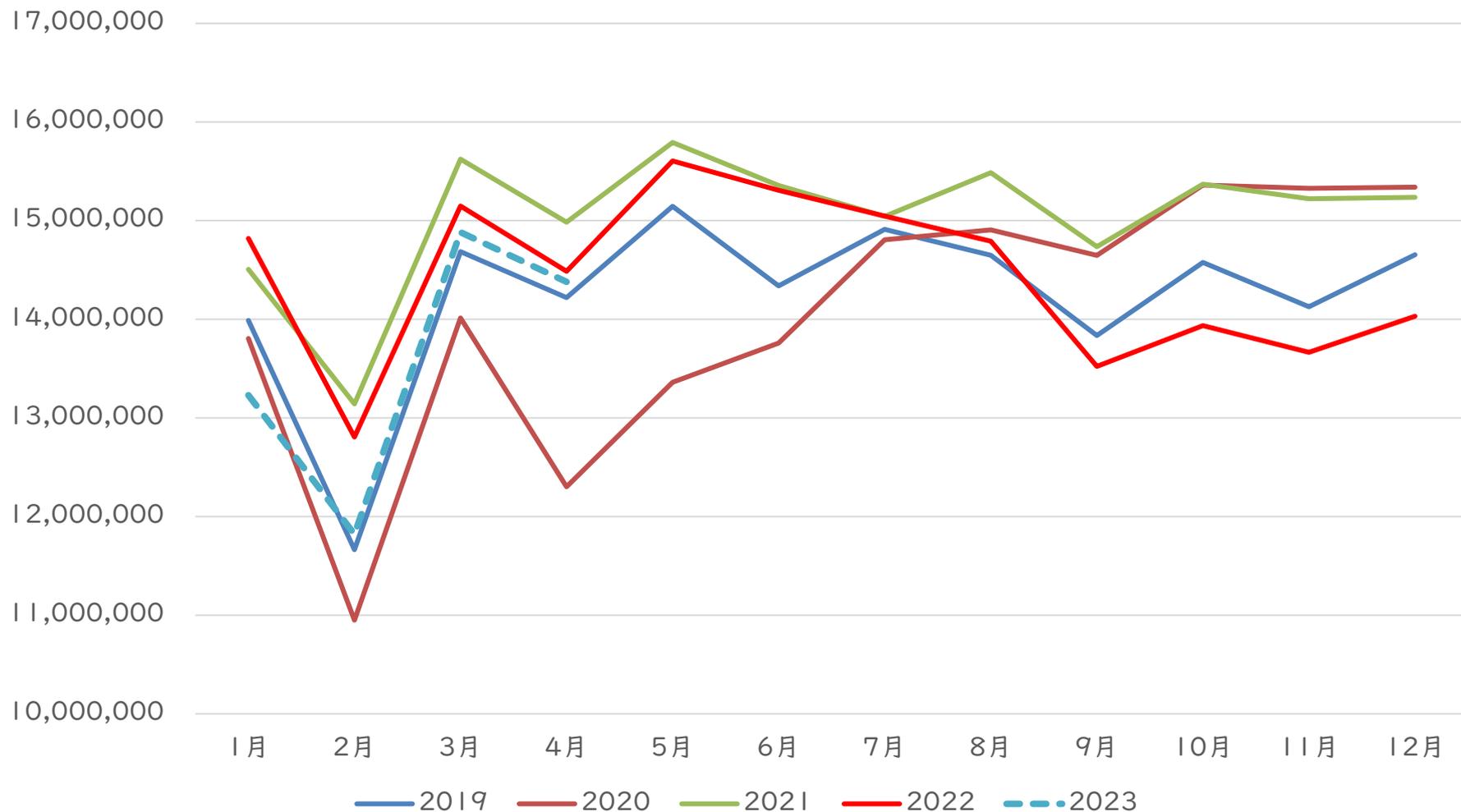
拓殖大学
Takushoku University

商学部
Faculty of Commerce

プレゼンテーションの構成

- 直近のコンテナ輸送動向と見通し
- サプライチェーンの強靱化とコンテナ輸送会社の役割

多くの航路で減少は続くものの、欧州航路、インド・中東、南米向け、アフリカ向けは増加



図表1:世界のコンテナ荷動きの推移(単位:TEU)

需要の減少：背景

- 欧州：ロシアのウクライナ侵攻を機に荷動き2021年同期を下回るように
 - 物価高や個人消費の減速が荷動き急減の主因
 - ロシア・ウクライナ関連貨物がなくなったことで需給が軟化
- 北米：2022年の年末商戦向け貨物の前倒し出荷
 - 2022年1月の混雑，ILWU交渉への対応，過剰在庫で大手小売店がオーダーをキャンセル→ブルウィップ効果
 - 住宅市場の悪化



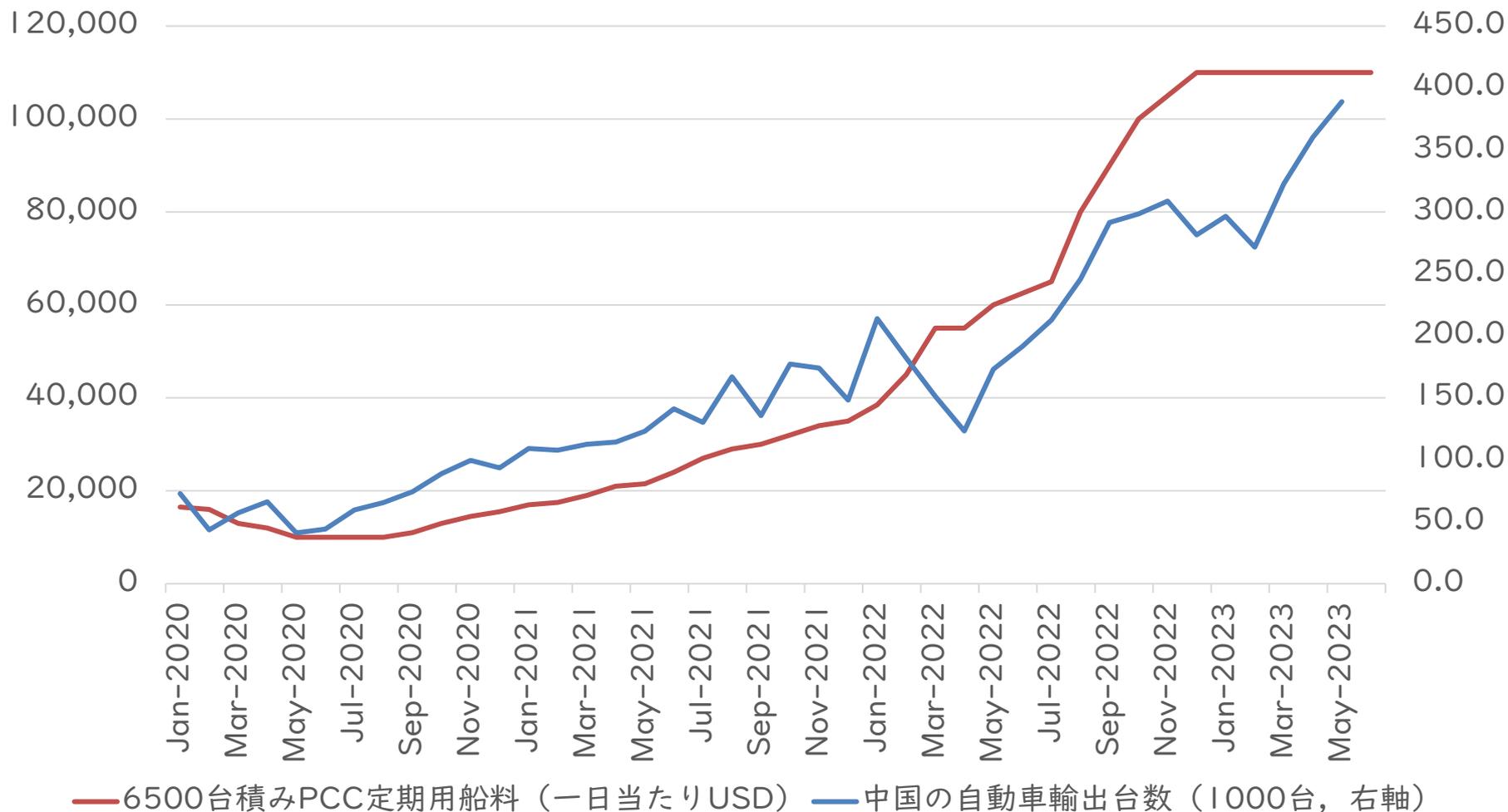
市況の見通し

- 在庫水準の上昇, 金利上昇に伴う住宅市場の悪化, インフレに伴う消費者マインドの悪化, サービス消費への比率上昇などの要因があり, 23年前半のコンテナ貨物輸送量は大きく伸びない可能性が高い.
 - 欧州航路など新しい需要を受けた需要の増加は見られる
- 港湾の混雑は解消傾向にあり, 20年後半以降に発注していた船舶が竣工を迎えているため, 供給は増加傾向にある.
 - 多少の遅れはある
- 需要の減少と供給の増加が相まって, 運賃水準は22年後半以降大きく下落し, スポット運賃はコロナ前の水準に下がっている.
- 原油価格高騰と環境対応投資でコストは上がっている.
 - 欠便, 減速運航, 迂回航行による対応

現在の注目事項

- 米国西岸労使交渉:6月14日に暫定合意
 - 荷主は正式合意に至るまで東岸・ガルフシフトを継続
- カナダ西岸での労使交渉:7月1日からストライキ開始
 - UPSのストライキの問題も
- パナマ運河の喫水制限
 - 平時より2m近く浅い水深, 追加制限はとりあえずストップ
- アジア—欧州間の自動車輸出・建材輸送
 - PCCから流れた完成自動車・建材をコンテナで輸送
 - 欧州航路については一部船社が値上げとの報道

自動車船の市況



図表2:自動車専用船（PCC）の用船料と自動車輸出台数

データ出所: クラークソン

中長期的荷動きの動向

- 直近ではサプライチェーンの混乱や在庫調整といった要因はあるものの、e-コマースの急成長や経済の緩やかな拡大を踏まえて、荷動き量も伸びるものと予測
 - S&Pによると、2010年から2022年までコンテナ貨物輸送量は年3.2%の伸長
 - 2022年以降2030年までは年平均3.1%の伸長を示すと予測

プレゼンテーションの構成

- 直近のコンテナ輸送動向と見通し
- サプライチェーンの強靱化とコンテナ輸送会社の役割



内田様, 戸田様の発表について

- 船社の役割としていずれの方々も強調されていること
 - 脱炭素化への取り組みの重要性
 - 代替燃料船や運航による削減以外に, 船舶のデザインやターミナルの脱炭素化, 排出量取引への対応など
 - コロナ禍後のサプライチェーン強靱化への取り組み
 - サービスの維持, 品質の維持
 - 日本での集荷
 - 今後の産業構造の変化への備え

近年のサプライチェーン複線化

- コンテナ輸送を含む貨物輸送で異なるルートの確保
 - ILWUとの労使協定改定に際して，東岸利用を中心に代替ルート
 - トランシップの活用
- 複数船社の採用
- 複数輸送モードの採用：航空，中欧班列（鉄道）
 - BCPの観点から国内でも（RORO/フェリーや鉄道）

サプライチェーン複線化のメリット・デメリット

長所	<u>リスク軽減</u>	個々のサプライヤーへの依存度を下げられるため、問題発生に対するサプライチェーンの柔軟性が高まる
	安定性の向上	サプライチェーンの多様化により、製品・サービスの提供がより安定的に 輸出国では、中間財をより多くの国から輸入しているサプライチェーンの複線化を実現している国ほど輸出への影響が小さいとの指摘
	品質の向上	提供者が複数になることにより、より高いサービス品質を可能な限り低価格で手に入れることができる
	<u>イノベーション</u>	競争を通じてイノベーションを生み出す可能性がある
	<u>交渉力の向上</u>	どのサプライヤーが最高のパフォーマンスを発揮しているかを把握でき、将来のより良い取引に役立つ
短所	取引先の管理	複数業者と同時に良好な関係を築き、維持することが難しい
	<u>管理コスト</u>	多数の業者の管理とコミュニケーションに伴って間接管理費が追加される可能性がある
	品質管理	品質管理、効率性の把握が困難な場合がある
	<u>統合の難しさ</u>	<u>物流をシームレスに行うために問題</u> が生じ、余分なコストと時間がかかる場合がある

図表3：サプライチェーン複線化のメリット・デメリット

サプライチェーンの冗長化と短縮化

- 在庫を厚めにするサプライチェーンへ (Just in Case)
 - 「安全在庫」の増加
 - 小売業で回避したいこと：品切れによる機会損失
 - 製造業で回避したいこと：欠品によるラインストップ
 - 20年3月以降，新型コロナの影響を踏まえて国内の部品在庫を過去最大レベルに積み上げた例
 - 物流データの精度を上げ，物流管理の組織体制も変えるなどの体制整備
- より近くの地域での調達や国内調達に切り替える短縮化も

新技術の活用

- サプライチェーンの強靱性を確保していくうえで、新技術活用による効率改善も重要
 - 物流コスト自体は売上高に対する割合が大きくないが、費用は削減可能
- デジタル化や自動化の積極的な活用がカギ
 - 近年におけるデジタル化の進展は使えるデータを増やすと同時に、データが使えるようになるまでの時間を短縮
- 例:本船の動静情報
 - 本船動静情報は在庫管理の基礎情報
 - 調達, 生産, 販売に関する基礎情報でもある
 - 動静情報を物流関係者の間で、時間差なしで同じ形で共有することは意外と難しい

背景：国際物流におけるSDGs・ESG

- サプライチェーン全体を通じた持続可能性への対応を図るため様々な取り組み
 - これまでのコストやリードタイムのような短期的な経済効率性ととともに、地球規模の長期的持続可能性を意識
- 国際物流の脱炭素化→関係企業の企業価値向上に貢献
 - 業界としての排出削減に加え、多くの企業のサプライチェーンにおける脱炭素化も

項目	対象	具体的対策	対応するSDGs
気候変動対策	温室効果ガス	・燃費改善、ゼロエミッション化	13. 気候変動に具体的な対策を
大気汚染対策	排気ガス (SOx, NOx, PM等)	・内燃機関の改善 ・良質燃料・代替燃料への切り替え	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
海洋汚染対策	油など (国際海運)	・油流出の未然防止、被害の最小化 ・汚水と廃棄物の処理	14. 海の豊かさを守ろう
生物多様性の配慮	バラスト水 (国際海運)	・外来生物の越境移動の防止	
資源循環への対策	リサイクル	・廃車・廃船の再資源化 ・解体時の環境・安全対策の徹底	12. つくる責任つかう責任

図表4：国際物流におけるSDGsに対する主な取り組み

環境負荷の小さい輸送手段によるサプライチェーンの構築が求められている

- モーダルシフト
 - 海上輸送の割合を増やすため「非常時」の発生頻度をどれだけ減らせるかもポイント
- サプライチェーンの複線化や安全在庫の確保
 - コンテナ輸送の所要時間が長くなることを考えると調達元の変化や新たな調達元の確保といった行動も視野
- 環境対応と経営の効率性を両立するためスコープ3の排出量を正確に知るためのアクション
 - 今後は物流可視化ソリューションによる排出量の測定、カーボンクレジットの取引への対応といったことが課題としてのぼってくる
- 環境規制を起因とした輸出入の制限が起こる可能性
 - 廃棄物だけでなく危険物でも規制によるサプライチェーン途絶リスクを踏まえた調達体制を整備が重要
 - 輸出前の分別や前処理を行うなどの工夫も必要

コンテナ船社に求められること： 環境対応と強靱化を実現する サプライチェーンにおける 強固なパートナーになること

船が遅れまくりでサプライチェーン・生産・
財務への影響が大き過ぎ。

昨日も数時間対応に追われる始末 😞

単なる輸送手段ではなく企業の戦略を実現す
るための重要な活動！！

